

令和8年度実施以降の入学者選抜方法の変更について(予告)

本学は、入学者選抜について、実施状況や高校関係者のご意見等も参考にしつつ、不断の改善に努めています。今回、次頁以下の見直しを行うこととしましたのでお知らせします。

なお、本学ではこのたび、3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を改定し、全学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）において、各学科が求める専門分野の能力とともに《主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、集中力・粘り強さ、コミュニケーション能力、規律性、ストレスコントロール力》を掲げました。

今後、入学者選抜についても、新たな3ポリシーのもとで、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の各選抜方法の特色や長所を踏まえ、検討してまいります。

I. 一般選抜（後期日程）

（I）実践経済学科

令和10年度（令和9年度実施）入学者選抜から地域創造学部実践経済学科における個別学力検査等で課す教科・科目等を以下のとおり変更します。

【変更内容】

地域創造学部実践経済学科における一般選抜（後期日程）の個別学力検査等の「小論文」を「数学」に変更

変更前

令和8年度									
日程	大学入学共通テスト（6教科7科目）								個別学力検査等
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	
後期	出題科目	『国語』	『地理総合、 地理探究』 『歴史総合、 日本史探究』 『歴史総合、 世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』	『公共、倫理』 『公共、 政治・経済』	『数学Ⅰ，数学 A』 『数学Ⅱ，数学 B，数学C』	『物理基礎 ／化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』	小論文 （高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題）
	配点	100	100		200	50	200	50	200
									900

変更後

令和10年度									
日程	大学入学共通テスト（6教科7科目）								個別学力検査等
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	
後期	出題科目	『国語』	『地理総合、 地理探究』 『歴史総合、 日本史探究』 『歴史総合、 世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』	『公共、倫理』 『公共、 政治・経済』	『数学Ⅰ，数学 A』 『数学Ⅱ，数学 B，数学C』	『物理基礎 ／化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』	数学 (数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C) * 数Bは『数列』、数Cは『ベクトル』を出題範囲とする。
	配点	100	100		200	50	200	50	300
									1,000

2. 学校推薦型選抜

(1) 実践経済学科

令和9年度（令和8年度実施）入学者選抜から地域創造学部実践経済学科における学校推薦型選抜の出願要件・選抜方法を以下のとおり変更します。

【変更内容】

I. 学校推薦型選抜（専門学科（商業科、農業科、工業科等）区分）出願要件・選抜方法の変更

※特定の資格・検定スコア等の提出から、高校時代における多様な活動内容や学習成果を幅広く評価する選抜方式へと移行します。

出願要件

変更前	変更後
(A) 「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校の専門学科を令和9年3月卒業見込みの者又は総合学科等に所属し、商業、農業、工業等の専門科目に関する科目を20単位以上修得した者（又は修得見込みの者）で令和9年3月卒業見込みの者 (B) 以下の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者 （ア）以下の i～v のいずれかに該当する者 i. 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上 ii. 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第1級 iii. 情報処理技術者試験 レベルⅠ（ITパスポート試験）以上 iv. 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第1級 v. 以下に示す英語の「資格・検定試験」のいずれかのスコアを有する者 ・ケンブリッジ英語検定 E30 以上（※2） ・実用英語技能検定 2 級 E50 以上（※3） ・GTEC (Basic, Advanced, CBT) E30 以上（※4） ・IELTS 4.0 以上（※5） ・TEAP 225 以上 ・TEAP CBT 420 以上 ・TOEFL iBT 42 以上 （※2）対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば可否は問わない。 （※3）準 Ⅰ 級 1980 以上、Ⅰ 級 2304 以上でも可。指定されたスコアを超えていれば可否は問わない。 （※4）GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。 （※5）IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。 （イ）以下の i～iii のいずれかに該当する者 i. 日本学校農業クラブ大会等の全国大会出場者 ii. 高校生ものづくりコンテスト等の全国大会出場者 iii. その他、全国規模の研究発表大会出場者（該当する大会かどうかについては、事前に本学までご確認ください。）	「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校の専門学科を令和9年3月卒業見込みの者又は総合学科等に所属し、商業、農業、工業等の専門科目に関する科目を20単位以上修得した者（又は修得見込みの者）で令和9年3月卒業見込みの者

選抜方法

変更前	変更後
【出願要件（B）（ア）に該当する者】 提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。 【出願要件（B）（イ）に該当する者】 提出された推薦書、調査書、志願理由書（出場した大会等で主体性を持って取り組んだ活動、他者と協働して取り組んだ活動等を記載）等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接（プレゼンテーション含む。）の結果を総合して選抜する。	<u>提出された志望理由書・活動記録書、推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</u>

(2) 実践経済学科

令和10年度（令和9年度実施）入学者選抜から地域創造学部実践経済学科における学校推薦型選抜の出願要件・選抜方法を以下のとおり変更します。

【変更内容】

I. 学校推薦型選抜（普通科等区分）出願要件、選抜方法の変更

出願要件

変更前	変更後
調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者	<u>調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</u>

選抜方法

変更前	変更後
提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入学共通テストの成績を総合して選抜する。	<u>提出された志望理由書・活動記録書、推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</u>

II. 学校推薦型選抜（専門学科（商業科、農業科、工業科等）区分）出願要件の変更

出願要件

変更前	変更後
調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者	<u>調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</u>

3. 総合型選抜

(1) 全学部全学科

令和9年度（令和8年度実施）入学者選抜から全学部全学科において、特別選抜（帰国子女・社会人・私費外国人留学生）を総合型選抜（帰国子女・社会人・私費外国人留学生）へ名称を変更します。

(2) 経営学科

令和9年度（令和8年度実施）入学者選抜から経営学部経営学科における総合型選抜（県内枠・県外枠）を廃止し、以下のとおり募集人員を変更します。

【変更内容】

区分		経営学部経営学科	
		変更前	変更後
総合型選抜	県内	<u>6</u>	
	県外	<u>4</u>	
学校推薦型選抜	県内普通科等	20	<u>22</u>
	県内商業科等	10	<u>12</u>
	県外普通科等	10	<u>12</u>
	県外商業科等	5	<u>7</u>
一般選抜	前期日程	70	<u>72</u>
	後期日程	15	15
学科計		140	140

※上記の区分以外に、帰国子女・社会人・私費外国人留学生を若干名募集します。

(3) 国際社会学科

令和9年度（令和8年度実施）入学者選抜から国際社会学部国際社会学科における小論文試験の評価基準を以下のとおり変更します。

変更前：

小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみる。
 資格・検定試験において、以下のスコアを有する者については「小論文」の点数に10点を加点する。
 ただし、加点後の「小論文」の得点は50点を超えないものとする。

↓

変更後：

小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみる。
 資格・検定試験において、以下のスコアを有する者については「小論文」の点数に5点を加点する。
 ただし、加点後の「小論文」の得点は50点を超えないものとする。